

## 俳画と俳句と東中での実践

梶田 純子

秋田市立秋田東中学校

まず始めに、俳画についてお話します。俳画とは、画と俳句のコラボレーションの文化です。人物や静物を単体で描くことが多く、余白の美とも言われています。描かれている絵と俳句の季語は、一致していません。そこにある物や風景と俳句から、見る人が様々なことを想像することができからです。

日本で初めて俳画を書いた人は、皆さんもよくご存じの松尾芭蕉です。元禄2年、1689年、奥の細道の紀行文に俳句を書き、そこに画を添えたのが始まりです。その後、俳画を広く世に広めた人が与謝蕪村です。彼は、俳句より先に絵の勉強をしていました。尊敬する松尾芭蕉の奥の細道に絵を添えたことで、彼の名前が世に知られるようになりました。

私達、母娘と俳画の出会いについてお話します。娘が小学校4年生の時、私の知り合いの喫茶店のオーナーが娘に俳画を勧めてくれました。オーナーのお母様が、俳画の先生です。たいていは、画を描いてから、どなたかの俳句を選んで書くのですが、私が短歌、俳句が好きなことを話すと、私の俳句を画に添えることを勧めてくれました。初めての母娘の合作は、私が大好きなバラに次のような俳句を添えました。

嵐にも りんりんと咲く 花畑 純子

何度台風が来ても、私の小さな庭のバラがりんと咲いていたので、この俳句がうまれました。

そのころ、わたしは上北手小学校に勤務していました。3年生の担任でした。その年は、四季折々に俳句を作って楽しみました。

印象に残っている俳句を紹介します。

シクラメン 恋しているの ハートの葉 和樹

そして、2年前秋田東中学校に転勤しました。隣の席にいたのが、ALT のデイビットです。彼は大学で日本文学を勉強していて、俳画に興味を示してくれました。そこで私の俳句を英語で説明するようになりました。デイビットと俳画を見ながら、話をしているうちに、いつか個展を開いたときに、外国の方にも見ていただけるように英語でまとめておきました。

それから、1年後。ちょうど去年の9月。魁新聞で蛭田先生が英語俳句のネットをオープンしたことを知りました。それで、私達の作品を知ってもらおうと思い、蛭田先生

に紹介したところ、早速ホームページに掲載していただきました。

そして、今年の春、ネットの1周年を記念し、ネット上で蛭田先生のお知り合いイギリス、バースのアランさんとの合同フェスティバルが開催されました。もしよければ、愛佳さんの作品を展示したい、できることなら来てもらいたいというお話がありました。夢のような話でしたが、アイルランドの火山のこと、仕事、家庭いろいろ迷いましたが、またとないチャンスと思いいって参りました。

当初の予定では、俳画の展示と愛佳のワークショップでお客様の前で俳画を描くという企画でした。ところが、開催の前の晩、アランさんの目がキラーンと光り、少年のような顔で私にこう言いました。

「純子さん、明日のオープニングで詩の朗読会があります。あなたの俳句を詠んでみませんか。」

なんと言うことでしょうか。びっくりするやら、うれしいやら。私の頭の中は、娘の着物の着付けと俳画の説明の通訳のことでいっぱいでした。でも、ちょうど、イギリスに向かってからそれまでの滞在の中で、手帳に記していた俳句があったのでそれを詠むことにしました。

今日はここでその朗読会を再現することにいたします。

May 8th Saturday 日本出発

雲さえも イギリスに見え 五月晴れ

Even clouds  
look like England  
on leaving day's sunny morning

一粒の種 海渡り 花開く

one seed  
flies away in the ocean  
and blooms at last

バラの国 ついに 親子の夢 叶う

at last  
in the country of roses  
our dreams comes true

May 9th Sunday

神風か イギリス行きの 便が飛ぶ  
Hand of God ?  
Plane left  
avoid volcano

成田発 時間旅行の 出発だ  
From Narita  
time travel has just started

あこがれの 絵本の中に いる私  
At last  
We are in the picture book  
I dreamed of for a long time

この空は 秋田の空に つながっている  
This sky  
conects to sky in akita

May 10 Monday

バッキンガム宮殿にて

マロニエの 光の道に 影2つ  
Shining tunnel of plane trres(horse chestnuttree)  
two shadows walking  
hand in hand

グリニッジ天文台にて

二人して 地球のへそを またぎおり  
standing on 0 line  
on the border of both  
the east world west world

ビッグベン

12回 ハローという時

すっごくキツネうどん 食べたくなってる

Big Ben repeats Hello 12times

really want to eat kitsune udon

そこ ここに 修学旅行の子らの群れ

世界が目指す ロンドンの街

Here and there so many students from Europe

the world's people want to come to London

騎兵隊の少年 息子に見え ロンドンの午後

Guard the boy on the horse

look like my son

On a London afternoon

ホームズの 謎解き きこえし 彼の部屋

Heard the voice

of Sherlock

solving mysteries

マンマミーア

泣き 笑い 歌い 踊り

ロンドンの夜に酔う

Watching Mam ma Mier

cry , laugh, sing and dance

drunk with happiness at London night

バースの街角 カラス ハローと歌ってる

crows in Bath

singing "Hello Hello" to us

お客さまたちは、俳句を1つ紹介するたびに、反応があり、これがライブの醍醐味なのかなあと思いました。中には、自分が作ってきた俳句を和訳して、バラの絵の俳画に添えて欲しいという方もいました。早速、要望に応じて描いてプレゼントしたところ、とても喜んで下さいました。また、「パースで水墨画と俳句を習っていて、今度コラボさせようと思ってたけど、俳画という文化がもうあることを知り、驚いているわ。」という方もいました。私が読んだ、日本語の方の俳句をもう一回読んで欲しい、日本語で書いて欲しいという方もいて、おしゃべりをしながら皆さんの要望に応えるのも楽しかったですし、喜ぶ笑顔もうれしかったです。

気がつけば、夕方6時からのオープニングも夜10時くらいまでの大賑わいでした。こうして、ミッションを果たし、私達親子は、秋田に帰ってきました。

東中で、今年は2年生を持たせていただいておりますが、生徒たちも英語俳句に興味をもってくれました。さっそく、4回ほど挑戦してみました。ゴールデンウィーク、夏休み、合唱祭、秋休みの4回です。始めのうちは、日本語で俳句を作ることに抵抗を感じる生徒が多かったです。そこで俳句に限らず、川柳、短歌、詩でもいいので、今の自分の心のアルバムを残そうということにしました。また、自由な発想や本心を表現できるように、ペンネームを使ってもよいことにしました。辞書などを使って、とにかく自分で英訳をしてみて、その後でわたしやALTのジョイリーンが英訳のお手伝いをしました。完成するまでに、「どんな気持ちで作ったの?」とか「ここは、こういう表現もできるよ。」と生徒の気持ちを大事にして、なるべく最初に伝えたいと思っていたことをこわさないようにしました。できた作品を友達と読み合いながら、2回目、3回目となるうちに、だんだん腕をあげてきました。

秋には、手漉き和紙に筆で書いた作品を国際フェスティバルに展示して、市民の方や秋田に住む外国人の方にも喜んでもらいました。

ここで生徒の作品を紹介します。秋休みの課題は、夕日、片思い、自由題です。日本語の俳句は、生徒のオリジナルで私は手を加えていません。

空見上げ 天高し雲に 手を伸ばす

looking up at the sky

clouds so high

my arm reaches to them

日本海 沈む夕陽を見て思う

あの子の笑顔の遠いやさしさ

sunset into the Japanese sea  
reminds me of her smile in the distance

秋なのに 朝顔まだまだ 咲いている  
思い起こせば 僕たちもこれから  
even in fall morning glories still blossom  
I notice we are growing up more and more

哀しみが 晴れて架かるよ 虹の橋  
goodbye my sadness  
I saw a bridge of rainbow

蓮の花 見るとあの人 思い出し  
いるはずのない面影さがす  
lotus reminds me of you  
you are not here  
but I search for your shadow

寒空に かじかむ指を あたためて  
君の温もり 今思い出す  
in cold sky  
warm my fingers now remember your hands

秋の空 あの人も今 見てるかな  
I'm looking up fall sky  
Is he looking up , too?

学校の廊下に展示して、みんなで鑑賞しました。友達の作品を見ての感想です。

- ・〇〇さんの、下の句のリズムが好きです。
- ・気持ちがよくわかります ・英語も日本語も表現がきれいです
- ・自分の気持ちを言ってくれている ・好きな気持ちを物にたとえて表現していて  
すごいです

また、1年間俳句を作ってみての感想を書いてもらいました。

・俳句作りをして、日本語で表すより、英語の方が奥が深くて心に響く感じがしました。一語一語英語に直すのはとても大変だったけど勉強になりました。よい経験になりました。

・最初は正直、とても簡単なことだと思いました。でも、実際作ってみると、思ったより大変で、考えるのにとても時間がかかりました。でも、考えるのが楽しかったです。しかも、それを英語に直して書くのもおもしろかったです。最終的に思いついたのが甲子園だったので、高校球児の思いを俳句にのせました。

・1つの単語にもいろいろな意味があるのを知って、楽しかったです。わからない単語も知れてよかったです。最初は少し乗り気じゃなかったけど、やっていくうちにハマりました。

私の中で、英語俳句はまだスタートしたばかりです。出会いの数だけの感動を求めて、これからも楽しんでいきたいと思います。